

陸軍軍法會議法案外十一件特別委員小委員會會議事速記録第十號

(二七)

大正十年二月十七日(木曜日)午前十時二十八分開會

○委員長(松室致君) ソレデハ是カラ開胃イタシマス、昨日ノ附則ノ續キデス

○男爵佐竹義準君 此ノ附則ノ一番初メノ五百三十二條ニ、本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトアリマスガ、是ハイツ頃カラ御實施ニナル御豫定デゴザイマス

○政府委員(志水小一郎君) 是ハマダ無論確定ハ致シテ居リマセヌケレドモ、凡ソ一箇年ノ時月ヲ假シテ、サウシテ施行スルト云フヤウナコトニ略々決メテ居リマス、此法ガ確定イタシマシテカラ

○男爵佐竹義準君 サウ致シマス、本會議ヲ是ガ通過イタシマシタラバ、詰リ來年度カラ實施サレルト云フ御豫定トスレバ、之ニ對スル豫算等ハ、來年ノ豫算ニ舉ゲルノデゴザイマス、サウシテ大體ドノ位ノ經費ガ必要ト云フ御考デアリマス

○政府委員(志水小一郎君) 是ハ假ニ凡ソ一箇年ノ時月ヲ以テシマシテモ、種々準備ガゴザイマス、第一今ノ軍法會議ノ建物デハ、陸軍ハ實行ガ出來マセヌ、傍聽席ノ準備モゴザイマス、ソレデ此法案ガ通過イタシマスレバ、追加豫算ヲ以テ費用ヲ請求スルト云フ仕掛ニナツテ居リマス、ソレカラ其金額ハ私ハ能クハ記憶シテ居リマセヌガ、其費ガ凡ソ二百萬圓位アルカト思ツテ居リマス、ソレカラ經常費ガ三十萬圓バカリアルモノト覺エテ居リマス

○男爵佐竹義準君 ソレカラモウ一ツ私ハツマラヌコトノヤウデゴザイマスガ、此附則ト云フ事柄ノ後ガ、此逐條ガ前ノ條ヲ逐ウテ五百三十二條カラズツト參ツテ居リマスガ、多クノ法律ノ附則ト云フモノハ、附則ダケ別ニ條ヲ立テ、行クノガ多ク場合デナイカト思ヒマス、附則ト云フモノハ元々本法ヲ施行スルニ付テ、色々ノ關係ヲ呈スルノデ、本法デナイノデアリマスカラ、矢張り是ハ附則ト云フモノハ條ヲ逐ハズニ一條トシテ行ツタ方が、都合ガ宜クハナイカト

思ヒマスガ、何カ此方ガ御都合ガ宜イ所ガゴザイマス

○政府委員(志水小一郎君) 是ハ種々準備ヲイタシマシテ、法制局ニ付キマシテモ有ユル立法令ヲ調べテ貰ヒマシタ、是モ仰セノ如ク、附則トシテ更ニ一條カラ初メルノモアリマス、ソレカラ本案ノ如クズツト一貫ノ條制ヲ逐ウテ定メテ居ルト云フノモアルト云フコトデゴザイマス、ソレデマア此方ガ宜カラウト云フコトニ決マリマシテ、別ニ意味ハゴザイマセヌ

○委員長(松室致君) 速記ヲ止メテ……  
(速記中止)

○委員長(松室致君) 速記ヲ始メテ……別ニ此規則ニハ御質問アリマセヌカ、ソレデハ今度ハ刑事交渉法案ニ移リタイト思フガ如何デセウ、御異議アリマセヌケレバ

○政府委員(志水小一郎君) 例ニ依ツテ大體ノ趣旨ヲ申上ゲマス、陸軍或ハ海軍軍法會議ノ裁判權ニ屬スル事件ト、普通ノ裁判所ノ裁判權ニ屬スル事件トガ、彼是牽連イタシマス場合ニ於テハ、陸海軍ノ司法官憲ハ、陸海軍ノ裁判權ニ屬スル事件ニ付テ搜查ヲ致シマス外、普通ノ裁判權ニ屬スル裁判權ニ付テモ亦搜查ヲナサナクテハナリマセヌ、是ト同様ニ普通ノ司法官憲モ亦普通裁判所ノ裁判權ニ屬スル事件ニ付テ搜查ヲ致シマス外、陸海軍ノ裁判權ニ屬スル事件ニ付テモ亦搜查ヲナサナクテハナリマセヌ、陸海軍ノ部隊内ニ於テ發生シマシタモノデアルナラバ、陸海軍司法官憲ガ先ヅ其搜查ヲナサナクテハナラヌノデアリマス、然ラザレバ能ク犯罪事實ヲ調査スルコトガ出來ナイ次第デアリマス、ソレデカラ是等ノ事件ニ付キマシテハ、雙方ニ搜查權ガアルコトニシナケレバナラヌ、雙方ニ搜查權アルコトニ致シマスレバ、其搜查ニ牽連イタシマシテ、特ニ規定ヲシテ置カナクチャナラヌノデアリマス、又唯今申シマシタ事

件ガ彼是牽連スルトキハ云々、所謂牽連ト云フハドウ云フコトヲ云フノカ、ドウ云フ状態ヲ事件ガ牽連スルヤト云フヤ、ト申スコトモ規定シテ置カケレバナラヌ、其他同一ノ事件ガ陸海軍ノ裁判權ニ屬シマス同時ニ、普通ノ裁判權ニモ亦屬スルト云フ場合ガアリマス、軍法會議ガ常人ヲ特ニ審判イタシマス場合ハ、多クハサウ云フコトニナツテ居リマス、斯ウ云フ場合ニ於テ軍法會議モ、普通裁判所モ共ニ是ガ審判ニ著手ヲ致シマス、ト申スコトニ、ドチラデ其審判ヲ遂行スルカ、ソレカラサウ云フ場合モ規定シテ置カケレバナラヌ、又陸海軍ノ司法官憲、或ハ普通ノ司法官憲ガ各々其ノ權限内ニ於テ爲シマシタ所ノ處分、即チ免訴、不起訴處分、控訴棄却ト云フ如キ其處分ハ、他ノ一方ガ後日其事件ヲ扱ヒマスニ當ツテドウ云フ效果ヲ生ズベキモノデアルカ、又以上申上ゲマシタ所ハ此ノ陸軍司法官憲ト、海軍司法官憲トノ間、及ビ陸海軍司法官憲ト、朝鮮、臺灣、又ハ關東州ノ司法官憲、其他特別ノ司法官憲トノ間ニハドウデアルカ、如何ニ規定スベキカト云フ問題ガアルノデアリマシテ、刑事交渉法ハ、要スルニ是等ノ事項ニ付テ規定ヲ致シマシタノデアリマス、現行法トシテハ明治十八年第十二號布告ナルモノガアリマスガ、其規定ハ極メテ不備デアリマシテ、軍法會議法ノ改正ニ伴ヒ、是非改正ヲシナクテハナラヌノデアリマス、畢竟此ノ刑事交渉法ガ設ケラレル譯デアリマス、大要右様ノ通りデアリマス

○委員長(松室致君) チョット御尋ネシマスガ、隨分此ノ交渉法ニ依ツテ御互ニ搜查スルト云フヤウナコトガ、澤山アリマス

○政府委員(志水小一郎君) 極ク稀デアリマシテ、頻繁ニアルト云フ事實ハ認メマセヌノデアリマス

○委員長(松室致君) 此最後ノ方デ御尋ネシマスガ、收賄事件ナドハ矢張り斯ウ云フ必要ガ生ジテ來ルノデス

○政府委員(內田重成君) 御意見ノ通りサウ云フ場

合ニハ極メテ是ガ必要デアリマス、詰リ此ノ收賄事件ニ付キマシテ必要デアリマス、且ツ此ノ陸海軍ノ部隊内ニ於キマスル同盟罷工等ノ如キ場合ニ、職工ハ常人デアリマス、中ニハ此常人ト軍人軍屬トノ共謀ノモノモゴザイマス、又共謀デナクモ矢張り陸海軍ノ部隊内ニ於ケル同盟罷工ト云フヤウナモノデアッテ、ソレニ對シテ軍人ガ、常人タルガ故ニ手ヲ著ケ兼ネテ居ルト云フヤウナコトガ、出來ル場合ガアリマス、サウ云フ場合ニハ、此交渉法ガ働ク譯デアリマス、捜査事件ニ早ク手ヲ著ケヌナラヌト云フコトガ起キテ參ルノデアリマス、唯今デハ多ク之ヲ適用イタシマスル關係ハ收賄事件、ソレカラ軍人ト常人トガ共謀シテ納メ物ヲ致シマスル、御用商人ノ納メ物ニ關スル犯罪等ニ付キマシテデアリマス、ソレニ此適用ガ生ジテ來ルノデアリマス

○委員長(松室致君) チョット御尋ね致シマスガ、第三條ノ第二項ノ規定デハ、檢事ガ豫審判事ニ豫審ヲ請求スルコトガ出來ルトアリマスガ、此ノ交渉法ノ出來タ時分ハデス、目下デモ同ジコトデスガ、何方モ豫審起訴前ノ手續タルト云フコトヲ豫想サレテ居ルヤウニ思フノデスガ、若シ普通法草案ガ改正サレテ現行法ノ如ク豫審ハ矢張り起訴ノ手續デアルト云フコトニナツタナラバ、第二項ハ少シ變ラニヤナラヌヤウナコトニナリハシナイノデスカ

○政府委員(志水小一郎君) 是ハ實ハ司法省委員カラ詳シク申上ゲタ方ガ宜イカトモ思ヒマスガ、此案ヲ相談イタシマス折ニハ、豫審ノ起訴ノ前後タルヲ問ハズ、此規定ノ適用ニハ妨ゲハナイ、斯ウ云フ趣旨デアル、チヨット間違ヒマシタ、此豫審ハ現行法ノ狀態デ、現行刑事訴訟法ノ狀態デ出來テ居リマスノデス、出來テ居リマスガ、此規定ノ爲メニ此豫審ナルモノガ一種特殊ノ狀態ニナツテ居ルコトモゴザイマス、ソレハ即チ此法律ノ結果デアル、要スルニ起訴後ノ豫審タル現行制度ヲ見テ是ガ出來テ居リマス

○政府委員(内田重成君) ソレニ附加ヘテ置キマスルガ、本條第二項ハ結局現行ノ明治十八年十二號布告、交渉ノ件處分法ノ第二條ノ精神デアリマシテ、豫審ヲ請求スルコトヲ得、又ハ通常裁判所ニ於キマシ

テ豫審ハ致シマスルガ、豫審ノ終結決定ハ致サズニ此ノ軍法會議ノ方ニ、檢察官ノ方ニ事件ヲ交付スルト云フコトニ致シマスルノデ、御承知ノ如ク豫審ノ終結決定ハ公判ニ移スノ決定、免訴ノ決定等ガアリマスルノデ、ソレデ此ノ軍法會議法ノ規定ノ方トハ繋合セガ出來マセヌカラ、終結前ノ手續ダケヲ豫審ガ致スト云フコトニシタノデアリマス、ソレデ將來刑事訴訟法ガ如何ニ此點ニ付キマシテナリマセウト、モ此三條ノ規定ハ變更ナキ見込ゴザイマス

○委員長(松室致君) サウスルト普通法ノ例外ニナルノデスカ

○政府委員(内田重成君) 左様デゴザイマス

○委員長(松室致君) サウスルト、現行ノ交渉法ト云フノガ、矢張り此通りニナツテ居ルノデスカ

○政府委員(内田重成君) 交渉法第二條ニ規定シテ居ルヤウデゴザイマス

○委員長(松室致君) チョット速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(松室致君) チョット其ノコトヲ書イテ置イタ方ガ宜イ、速記ヲサセマスカラモウ一遍……

○政府委員(志水小一郎君) 第三條ノ規定ハ、申サバ例外規定デアリマシテ、檢事ガ豫審ヲ請求シタ結果ハ普通法ニ照シテハ本條ノヤウニナリマセヌノデアリマス、特ニ此ノ規定ヲ設ケテ豫審終結決定ト云フコトヲ爲サズシテ、此ノ處分ヲスルト云フコトニナツタ譯デアリマス

○委員長(松室致君) 此ノ訴訟法ニ付テ別ニ御質問ガアリマセネバ、次ニ移リタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマス

○大島健一君 第五條ノ二項ノ決定ト云フノハ、ドチラデ決定スルト云フコトデスカ、ドウ云フ風ニ決定スルノデ、其事實ヲ知ラナイカラ……

○政府委員(志水小一郎君) 此ノ決定ト申シマスルノハ……

○大島健一君 イヤ、決定ト云フノハ宜シイガ、ドウ云フ風ニスルノデアリマス、通常裁判所ト軍法會議トノ間ノ……

○政府委員(志水小一郎君) 是ハ詰リ兩方ニナツテ

居リマスノデ、互ニ決定ヲスル、兩方デ決定ヲスル、斯ウ云フ解釋ニナツテ居リマス

○大島健一君 兩方デ決定スルト云ヘバ、合議ノ上……

○政府委員(志水小一郎君) マア事實ハ合議ト云フコトニナリマス

○大島健一君 他ニハ別ニアリマセヌ

○委員長(松室致君) ソレデハ今度ハ陸海軍軍法會議私訴裁判強制執行法廢止法律案、之ヲ議題ニ致シマス

○政府委員(志水小一郎君) 本案ノ趣旨ハ極メテ簡單デゴザイマス、本案ニ於テハ私訴裁判ヲ設ケマセヌノデ、從ツテ是マデアリマシタ所ノ私訴裁判強制執行法ト云フモノハ要ラヌノデ、之ヲ廢シマスノデアリマス

○委員長(松室致君) 此案ニ付テ、別ニ御質問ハアリマセヌケレバ外ニ移リマス、ソレカラ今度ハ朝鮮軍法會議ニ關スル法律案

○政府委員(志水小一郎君) 是モ極メテ簡單ナ理由デアリマス、從來朝鮮ニアリマシタル所ノ陸軍首腦部ニ軍法會議ヲ置キマシタノデアリマスガ、此本案實ニ後モ尙同様に朝鮮ニアル所ノ陸軍首腦部ニ軍法會議ヲ置ク趣旨デアリマス、サウシテ此ノ軍法會議ノ構成、權限總テ本法ニ據ルノデアリマス、然シ朝鮮ト申スト、特別ノ事情ガアリマス所デハ朝鮮軍法會議ト云フガ如キモノヲ、本法ノ軍法會議ノ名稱中ニ書込ミマシテ、一般ニ規定シテ置クト云フ事ガ、一例ヲ舉ゲテ見マスルト、最初ニ朝鮮ニ軍法會議ヲ置キマシタ時分ニハ、韓國駐劄軍法會議ト云フ名義デ置キマシタノデゴザイマス、其後朝鮮ニ駐屯シテ居リマス所ノ軍ニ、屢々變更ガアリマシテ其名稱ガ變ツタ譯デアリマス、今申上ゲマスヤウナ次第デアリマスカラ、別ニ出來タ譯デアリマス

○委員長(松室致君) 別ニ御質問アリマセヌデスカサウスルト今度ハ臺灣軍法會議ニ關スル法律案

○政府委員(志水小一郎君) 本法案モ唯今申上ゲマシタ、朝鮮軍法會議ニ關スル法律案ト同様ナ理由デ

アリマス、最初臺灣ニ軍法會議ヲ置キマシタトキニハ、臺灣總督府デアリマシタ、今日ハ臺灣軍ト云フモ  
ノガ軍法會議ヲ置クト云フコトニナリマシタ、併ナ  
ガラ實行ノ趣旨ハ臺灣ニアル陸軍ノ首脳部ニ軍法會  
議ヲ置クト云フ趣旨デアリマスカラ、別ニ法律ヲ作  
テ置イタ方ガ宜シイト云フ趣旨デアリマス

#### ○委員長(松室致君)

其次ハ關東軍軍法會議ニ關ス  
ル法律案

○政府委員(志水小一郎君) 是モ矢張り同様ナ趣旨  
デアリマシテ、最初關東都督府ニ軍法會議ヲ置イタ、  
所ガ關東州ニ於ケル陸軍首脳部ノ名稱ガ再々變リマ  
スニ依ッテ、今日關東軍ニ軍法會議ヲ置イタ、サウ云  
フ事情デアリマスカラ、矢張り朝鮮、臺灣ニ於ケル  
同様に、別ニ法律ヲ設ケルコトニ致シマシタ

○委員長(松室致君) 今度ハ陸軍法務官及海軍法務  
官ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案

○政府委員(志水小一郎君) 是モ簡單ナ理由デアリ  
マス、陸海軍法務官ハ何レモ終身官デアリマスニ依ッ  
テ、退職ノ場合ヲ退官ト看做スニアラザレバ、恩給法  
及遺族扶助料ニ關スル適用ガ出來ス、其爲ニ設ケマ  
シタ

○男爵佐竹義準君 此法令ノ適用ニ付テハ、退官シ  
タモノト看做スト云フコトガアリマスガ、退官シタ  
モノト看做スト云フノガ餘リ穩カデナイヤウニ思フ  
ガ、普通裁判法ノ構成法デハ退職スル場合ニ恩給ヲ  
給スト云フデケニナッテ居ルヤウデアリマスガ、退官  
ト云フ字ヲ入レタノハ、退官ト退職ガ今ヤカマシイ  
問題ニナッテ居ルノト關聯シテ、他日議論ガ起リハシ  
ナイカト云フ疑ヲ持ッテ居リマス

○政府委員(志水小一郎君) 是ハ要スルニ恩給法規  
ノ適用上、退職ハ退官ト看做スノデアッテ、此意味ノ  
規定ハ理事ニ付テハ現制度ニモ同様ノコトニナッテ  
居リマス、ソレハ明治二十九年法律第三號デアリマ  
ス、理事及豫備トナル者ハ退職トナルトキハ官吏恩  
給法、官吏遺族扶助料法ニ於テ退官者ト同視スル  
云フ規定ト、同趣旨ニ出來テ居リマス、唯法ノ適用上  
退官者ト看做ス、斯ウ云フノデアリマス

○男爵佐竹義準君 唯今御引キニナリマシタ法律ト

云フモノハ、法務官ガ終身官ニナラス以前ノ規定デ  
アル、今度法務官ハ終身官ト云フコトニ規定ヲサレ  
タ以上ハ、退官ヲシタ者ト看做スト云フコトヲ書カ  
ズニ、構成法第七十七條ニアルガ如クニ、退職シタル  
トキハ恩給法ニ依リ恩給ヲ受ク、斯ウ云フ風ニ簡單  
ニ書イテ置イタ方ガ宜クハナイカ、斯ウ思フノデス  
ガ

○政府委員(志水小一郎君) 理事ハ主事ト違ッテ、現  
制度ノ下デハ終身官デアリマス、ソコデ理事ノ爲ニ  
別ニ恩給法ガアルノデナク、遺族扶助法ガアルノデ  
ナクシテ、一般官吏恩給法、遺族扶助法ヲ適用致シマ  
スカラ、其法律ヲ適用セムトスルニハ、其法律ハ退職  
トカ、豫備トカ云フコトヲ慮ッテ居リマセスカラ、已  
ムヲ得ズ斯ウナッテ居リマス、現制度ハ即チ此通りニ  
ナッテ居リマス

○男爵佐竹義準君 理事ハ今マデ終身官デナカッタ  
ノデスガ、主事ハ

○政府委員(志水小一郎君) 終身官デアリマス、主  
事ハ終身官デハナイノデアリマス

○男爵佐竹義準君 今度ノ法務官ハ終身官トスト云  
フコトガ、初メテ終身官ニナッタノデハナイノデスナ  
○政府委員(志水小一郎君) 理事ニ付テハ初テデハ  
ゴザイマセス

○男爵佐竹義準君 初メテデナクテモ、此法律ガ新  
タニ制定セラレタトキニ於テハ、必ズシモ古イ條項  
ニ從フ必要ハナカラウト思フ、私ハドウシテモ此退  
官ト云フコトハ面白クナイト思フ、是ハ議論ニナリ  
マスガ、矢張り普通ノ構成法ニ於ケル、恩給法ニ依リ  
恩給ヲ受クト云フ風ニシタ方ガ、文字上ノ疑義ガ將  
來ニ向ッテ起ル事ハナカラウト斯ウ思フノデアリマ  
スガ、別ニサウ云フ風ニナッテモ差支ナイノデナイ  
カ、是非法令ノ適用ニ依ッテ退官シタモノト書カナケ  
レバナラスト云フ、特別ナル理由ガアリマスガ、唯昔  
ノ慣例ヲ襲用シタト云フ事ニ止マルノデアリマスガ

○政府委員(内田重成君) 是ハ恩給法ノ第二條以下  
ニ於キマシテ、在官滿十五年以上ノ者ガ左ニ掲グル  
事項ノ一ニ當ルトキハ恩給ヲ給ス、其規定ノ中ニ、退  
官ヲ許シタルトキ若クハ退官シタルトキト云フ規定

ガアリマス、其他總テ恩給法ノ規定ハ退官ト云フ文  
字ヲ置イテ規定ヲ致シテ居リマスノデ、此恩給法ヲ  
適用スル上ニ於テ、退職ト云フ事ハドウ云フコトニ  
當ルノデアアルカト云フコトガ明瞭イタシマセスカ  
ラ、恩給法ノ適用上ニ於テハ退官ト同視スル、退職ハ  
即チ退官ト、恩給法ノ適用上ノミニ於テ同視セラ  
ルモノデアアルト云フコトヲ定メマシタノデアリマ  
ス、寧ロ裁判所構成法ノ恩給法ニ依リ恩給ヲ受クダ  
ケデハ、明瞭シナイト云フ所カラ、斯ノ如ク書イタノ  
デアリマス

○男爵佐竹義準君 其點ハ私ハ能ク了解シテ居リマ  
スガ、此恩給法ニ於テ退官ト云フコトガアルノハ是  
ハ普通ノ文官ノ退官ヲ意味シタモノデアッテ、判事若  
クハ此法務官ノ如キ終身官ガ退官ト云フコトハナイ  
筈ト私ハ思フ、ドウシテモ退官スルト云フコトハ普  
通ノ文官ノ退官ト云フ意味ト、司法官或ハ理事ノ退  
官ト云フモノハ意味ガ違ッテ居ル、斯ウ思フ、ドウモ  
退官ト云フ字ガアルノハ穩カデナイ、斯ウ私ハ考ヘ  
ルノデアリマスガ、是ハ議論ニナリマスカラ、ソレダ  
ケニシテ置キマス

○委員長(松室致君) ソレデハ今度ハ、巡查看守退  
隱料及遺族扶助料法中改正法律案、此ノ御説明ヲ願  
ヒマス

○政府委員(川村竹治君) 此改正案ハ巡查看守退隱  
料及遺族扶助料法ノ中デ、退隱料及遺族扶助料ノ支  
給ニ關シテハ、判任官ノ待遇ヲ受ケル所ノ看守ト巡  
査トヲ、其在官年限ヲ通算スルノ改正案デアリマス、  
現行法ニ依リマスレバ、第六條ニ於テ巡查看守交互  
ニ轉職シ又ハ他ノ官職ニ轉ジタルトキハ、事務ノ都  
合ニ依ッテ退職ヲ命ゼラレタル者ト看做サレテ、是ガ  
勤績年數ハ通算シナイ事ニナッテ居リマス、而シテ  
此現行法ハ第二十六條ニ依リマシテ、名前ハ巡查看  
守退隱料云々ト云フコトニナッテ居リマスガ、此法律  
ハ判任官ノ待遇ヲ受ケル所ノ消防手及ビ其ノ遺族ニ  
之ヲ適用スルコトニナッテ居リマス、隨テ巡査カラ判  
任官ノ待遇ヲ受ケル所ノ消防手ニ轉ズルトカ、又ハ  
判任官ノ待遇ヲ受ケテ居ル所ノ消防手カラ巡査ニ轉  
ジタル場合ハ、現行法ニアリマシテハ、其在職ノ年限ヲ

通算スルコトが出来ナイヤウニナツテ居リマス、所ガ實際ノ必要ハ、巡查ノ中カラ或ハ消防手ヲ探ラナケレバナラヌトカ、又判任官ノ待遇ヲ受ケテ居ル所ノ消防手ノ中カラ巡查ニ探ルト云フコトガアリマスノデ、然レニ是等ノ俸給ノ出所ハ同ジク地方費ノ支辨スルモノデアリマシテ、財源モ同ジ處カラ出テ居ルノデアル、ノミナラズ相互轉勤ノ必要ヲ屢々感ズルノデアリマスカラ、本改正案ヲ出シテ譯デアリマス、大體ノ趣意ハソレダケノコトデアリマス、尙ホ御質問ニ依リマシテ御答ヲ致サウト思ヒマス

○政府委員(志水小一郎君) 陸軍關係ノコトヲ申上ゲマス、是ハ極メテ簡單ナル規定デアリマシテ、軍法案ニ於キマシテ、陸軍治罪法デ陸軍警守ト申シテ居リマシタモノヲ、其職務ガ變リマシタ爲ニ警査ト改稱イタシマシタ、其爲ニ陸軍警守ニ付テ規定シテアリマシタモノヲ、警査ニ變ヘタト云フダケノ規定デアリマス

○西久保弘道君 巡查ノ恩給ハ勿論地方費ノ負擔デアリマスガ、其恩給ヲ支給スルニハ最後ニ奉職シテ居ツタ所ノ府縣カラ支出シテ居ル、所ガ其最後ニ引受ケタ所ノ府縣ハ、随分迷惑スルト云フヤウナコトガアルノデアリマスガ、アレハ國庫ノ負擔トスレバ此上モナイデスガ、若シ國庫ノ負擔トスルコトハ財政狀態デ出来ナイト云フコトナラバ、府縣ノ貧富ニ應ジテ、此巡查ノ恩給ヲ支出サセルト云フヤウナ方法ハ出来ナイモノデスカ

○政府委員(川村竹治君) 國庫カラ支出ハ出来ナイカト云フ御尋デスカ

○西久保弘道君 國庫カラ支出スレバ一番簡便デアリマスケレドモ、若シソレガ不可能トスルナラバ、差當リ其府縣ノ貧富ニ應ジテ、巡查ノ恩給ガ例ヘバ百萬圓アルト假定スレバ、其百萬圓ノ金ヲ府縣ノ貧富ニ應ジテ國ノ方ニ出サセテ、サウシテソレデ恩給ヲ支給スルト云フヤウナ事ハ出来ナイデセウカ、今日ノ所デハ最後ニ奉職シテ居ツタ府縣ガ非常ニ迷惑ヲスル、例ヘバ所謂巡查ノ產地ト云フヤウナ貧乏ナ縣、巡查ノ產地ハ貧乏ナ縣デアリマス、ソレガ何カ傳手ヲ求メテ自分ノ縣ニ歸ル、貧乏ナ縣ダケ巡查ノ恩給ヲ

非常ニ脊負フト云フヤウナ有様デスカラ、御尋スルノデアリマス

○政府委員(川村竹治君) 成程御尋ノヤウナ憾ミガアルノデアリマス、ケレドモ今府縣ノ貧富ノ別ヲ計算スルコトハナカク、困難デアリマス、之ヲ實行スルコトハ恐ラクムツカシイコトデアラウ、唯今日ニ於テハ、財政ノ困難ナル縣ハ成ルベク恩給ノ付イテ居ルヤウナ巡查ヲ採用シナイ、又直チニ恩給ニナルヤウナ巡查ヲ採用シナイト云フ方法デヤツテ、之ヲ防グノ道ガアルノミデアリマス、當分斯ル方法デ以テヤツテ行ク外、道ハアルマイト思ヒマス

○西久保弘道君 貧富ヲ調査スルノ面倒デアリマセウケレドモ、併ナガラ例ヘバ人口デアルトカ、夫レカラ稅其他ノモノヲ標準ニシタラバ、能ク何カ寄付ノ割當ナドヲヤル時分ニ、サウ云フコトデ府縣ノ貧富ト云フコトヲ調査スルヤウデスガ、正確ニハ行カヌガ大體ニ於テ間違ヒナイヤウデスカラ、サウ云フ風ナ方法ニ依ツテヤレバヤレヌコトハナカラウト思ヒマスガ、ドウ云フモノデセウ

○政府委員(川村竹治君) ソレハ調査シタナラバ不完全ナガラ出来マセウガ、併シ之ヲ實行スルトスレバ、ドウセ之ヲ中央ニ集メル、是ガ爲ニ特別ノ費用モ掛ル、又負擔ヲ命ズル所ノ相當ノ法規モ要ルト云フコトニナリマセウガ、今日ノ所デハ夫レ迄セデモ、恩給ノ付イテ居ルトカ、近ク恩給ニナラウト云フ人ヲ必ラズシモ採用シナケレバナラヌト云フコトハナイ、各府縣相當ノ注意ヲ拂ツテ行ケバ、左迄困難ヲ感ズルコトハナカラウト思ヒマス

○委員長(松室致君) 次ハ明治三十五年法律第二十

九號中改正法律案、之ニ付テ政府委員ノ御説明ヲ願ヒマス

所ノ先刻來申上ゲマス所ノ改正ノ結果警守ガ警査ノ方ニ變ハリマシタ結果、警守ハ警査ト云フ名稱ヲ以テスルノ必要ガ生ジタノデアリマス其爲メノ法律デゴザイマス

○委員長(松室致君) ソレニ付テハ別ニ御質問ガアリマセウナラ、次ハ明治四十四年法律第六十一號中改正法律案

○政府委員(志水小一郎君) 是モ矢張り巡查看守陸軍監獄看守、陸軍警守等ノ退隱料遺族扶助料ニ關スル規定デアリマシテ、是等ノ者ノ朝鮮ニ在勤スル其者ニ付テノ規定デアリマス、是モ矢張り警守ノ名稱ヲ警査ニ變ヘマシタ結果、即チ是等ノ法律ニ於ケル警守ハ即チ警査ト同様ニスルト云フ爲メノ規定デアリマス

○委員長(松室致君) ソレデヤ是デ一通リ終リマシタガドウデセウ是カラ

○河村讓三郎君 一通リ終リマシタコトデゴザイマスガ、此軍法會議法案ノ中デ質問ヲ致シマシテ、マダ結論ニ達シテ居ラス點ガ僅ニアリマスルガ一點ダケ此際其質問ヲ許シテ、ソレデ小委員會曾ヲ終ハルト云フコトニ願ヒタイト思ヒマス、宜シウゴザイマス

○委員長(松室致君) 宜シウゴザイマス

○河村讓三郎君 ソレデヤ私ハ陸軍軍法會議法案ノ五百十八條ノ規定ニ付テ質問ヲ致シマシタガ速記ヲ止メテ意見ノ交換ヲ致シマシタ結果、此規定ノ趣意ハ了解ヲ致シタノデアリマス、ソレハ海軍治罪法ノ第九條及ソレニ相當スル陸軍治罪法ノ第九條カデアリマスガ、ソレヲ以テ普通ノ治罪法第九條ヲ準用シテ居リマスル、此規定ヲ其本法ノ施行ニ依ツテ廢止スル積リデアアル、其結果此將來不起訴ノ事項ニ付テ民法ノ規定ニ從フ事ニナルノデアアルケレドモ、本法施行前ニ既ニ此進行ヲ始メテ居ル時効ハ從前ノ規定ニ依ラシムルノデアアルト云フ事ヲ明ニスル爲メノ規定デアアルト云フ事ニ了解シタノデアリマス、ソレニ付テ尙ホ私ガ確メテ置キタイト存ジマスノハ此本法施行ノ結果此海軍治罪法ノ第九條及之ニ相當スル陸軍治罪法ノ規定ガ廢止セラレタト云フダケデアリマスルガ、ソレデ將來損害賠償ノ請求、此法案ニ依ツテ

損害賠償ノ請求ヲスル時分ニ其請求ノ時効ト云フモノハ、此民法ノ施行規定ニ從フノデアルト云フ事ニ當然解釋サレ得ルモノデゴザイマセウカ、ソコデ少シ疑ガゴザイマスガ、ソレハサウ解シナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、ドウ云フ關係、其解釋ガ取り得ラル、ト云フコトニ付テ御説明ヲ承ッテ置キタイノデアリマス

○政府委員(志水小一郎君) 要スルニ此軍法會議法案ノ規定ノ結果將來ハ犯罪ニ起因シテ訴ヲ起ス場合ト雖モ其事ニ付テハ何等法案ニ規定ハナイ、其結果民法ノ規定ニ依ラシムルノ趣旨デアルト斯ウ云フ積リデアリマスガ、唯、同ジコトヲ繰返ヤスヤウデアリマスケレドモ簡單ニ申上ゲマス、今仰セノ如ク陸軍治罪法ニ於テハ私訴ノ時効ヲ公訴ノ時効ト同ジニシテ居ルケレドモ、即チ私訴ノ時効ヲ民事裁判所ニ提出シタルトキト雖モ公訴ノ時効ニ同ジト斯ウ規定シテアルノデアリマス、ソレダカラシテ本案ニ於キマシテハ私訴ノ制ヲ設ケマセヌ、且ツ民事訴訟ニ關シマシテハ軍法會議ノ裁判權ニ屬スル犯罪行為ニ起因スルモノト雖モ、是ニ付テノ時効ノ規定ヲ設クルヤウナ事ハ致シマセヌ、併ナガラ軍法會議法ノ施行前ニ既ニ陸軍治罪法ノ規定ニ依ッテ進行ヲ始メマシタモノニ付キマシテハ、何等カノ規定ガナクテハナルマイト云フカラシテ五百五十八條ノ規定ヲ設ケマシタノデゴザイマス、ソレデ此ノ五百五十八條ノ規定ヲ設ケマシタノハ、時効ノ規定ノ如キモノハ加害者ノ利害ニ關スル規定デアル、或意味ニ於テ既得權ト言フヲ得ベキモノデアル、ソレダカラ刑事訴訟法ノ改正案ニ倣ヒマシテ此通りニ致シマシタ、軍法會議ノ權限ニ屬スル犯罪ニ起因スルモノト雖モ、軍法會議ニ私訴ト云フモノハナイ、普通裁判所ニソレニ原因シテ訴ヲスルニ付テハ民法ハ何等干涉ハシナイ、干涉シナイ以上ハ民法ノ規定ニ據ル、斯ウ云フ解釋デアリマス

○委員長(松室致君) チョット速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○委員長(松室致君) 時刻デスカラ今日ハ是デ散會イタシマシテ、ソレカラ此次ハ、一通リ調べマシタカ

ラ尙ホ今一應繰返シテ見タイト思ヒマス、二三日間ヲ置イテ開イタ方ガ宜カラウト思ヒマス、其時ニハ質問ハ一應終リマシタケレドモ、マダ質問ヲセナケレバナラヌコトガアルカモ知レマセヌデ、又少シ御懇談ヲシテ見タイコトガアリマスカラ、政府委員モ御出向キヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデハ是デ散會イタシマス

午後零時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 松室 致君  
副委員長 男爵坂本 俊篤君  
委員 子爵樋口 誠康君

大島 健一君  
河村 讓三郎君  
男爵佐竹 義準君  
西久保 弘道君

政府委員

內務省警保局長 川村 竹治君  
理事 志水 小一郎君  
主理 內田 重成君

大正十年二月二十日印刷

大正十年二月二十一日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局